

## 令和4年度事業計画（案）について

### （1）会議の開催

#### ① 推進協議会の開催（1回）

##### ◇第7回総会：令和5年（2023年）2月下旬〔予定〕

全国植樹祭実施結果報告、後催県会議参加報告、サテライト会場実施結果報告、令和3年度事業報告および収支決算、令和4年度事業報告および収支決算、推進協議会の解散 等

### （2）広報活動の実施

6月5日の開催に向け、広報啓発や各種イベントでPRに務めるなど、全国植樹祭の成功に向けて開催機運の醸成を図る。また、全国植樹祭式典参加者に、おもてなし・サテライト会場委員会が選定した記念品等を配布し、甲賀市の歴史・文化・産業等の魅力を発信します。

- ・ カウントダウンボード、のぼり等広報啓発品による大会PR
- ・ 第72回全国植樹祭甲賀市PR大使「にんじゃえもん」「ぼんぼこちゃん」の参画による啓発活動の実施
- ・ 市役所1階展示コーナーを活用した啓発活動の実施
- ・ 甲賀市ホームページやSNSを活用した情報提供等
- ・ きらめきこうか（あいコムこうか）を活用した広報活動
- ・ 式典参加者に招待者記念品および市情報誌（まっふる甲賀）の配布

### （3）サテライト会場の実施

式典参加者のみならず、多くの市民の方に第72回全国植樹祭を体感していただけるようパブリックビューイングの実施や市民参加型のイベントおよび甲賀市の魅力を生かした会場を展開する。

- ・ 「オール甲賀で植樹祭を楽しもう！KOKAグリーンフェス in 忍の里プララ」
- ・ 開催日：令和4年6月5日（日）
- ・ 場 所：忍の里プララ

### （4）市民活動の推進

#### ① 「木製地球儀」巡回展示およびPRキャラバンへの参画

大会シンボル「木製地球儀」の最終巡回地である甲賀市で大会開催まで展示を実施。巡回展示に合わせて行われるキャラバンに参画し、植樹祭をPRするため、木製プランターカバーづくり等を実施。

- ・「木製地球儀」巡回展示
- ・期 日：令和4年4月25日（月）～5月6日（金）
- ・場 所：甲賀市役所 1階展示コーナー
- ・期 日：令和4年5月10日（火）から開催まで
- ・場 所：かふか生涯学習館
  
- ・「木製地球儀」PRキャラバン
- ・開催日：令和4年5月3日（火・祝）
- ・場 所：アル・プラザ水口（予定）

## ② 市民との協働による事業の実施

オール甲賀で全国植樹祭を成功に導くためには市民の参画が重要であることから、市民との協働事業（サポーター事業）に取り組む。

- ・全国植樹祭オール甲賀盛り上げ事業（令和3年度から継続）  
全国植樹祭を盛り上げるため公募で決定した市民参画の事業を実施する。
- ・花彩りおもてなし事業（令和3年度から継続）  
全国植樹祭当日に会場付近を花プランターで彩るおもてなし事業を市民の参画で実施する。

## （5）全国植樹祭記念事業

全国植樹祭開催後の取り組み。

### ① 植樹祭記念展示の実施

全国植樹祭で両陛下が御使用された物品のメモリアル展示を予定。

### ② 地域住民と協働の森づくり事業の実施

記念事業イベントで植えた苗木の保育作業。

### ③ こども水源の森サミットの参画

県内だけでなく琵琶湖下流府県の緑の少年団の参画により実施される「こども水源の森サミット」に参加し、市内に結成された「緑の少年団」の育成等に取り組む。

- ・（公財）イオン環境財団と協働による森づくり活動
- ・開催時期：令和4年10月中旬
- ・式典場所：鹿深夢の森
- ・植栽場所：滋賀県油日林木育種場

### ④ 市が実施する全国植樹祭レガシー事業の参画

「全国植樹祭」を契機とした豊かな森林（健康林）づくり・木育推進事業への参画

## 【参 考】

### 甲賀市環境元年「カーボンニュートラル社会を目指して」

ー全国植樹祭を契機とした豊かな森林（健康林）づくりー

令和4年は甲賀市で「第72回全国植樹祭」が開催されることから、これを契機として本市の「環境元年」と位置付け、CO<sub>2</sub>の吸収等の森林の有する多面的な機能が持続的に発揮される健康な山づくりに取り組むとともに、（仮称）「甲賀市カーボンニュートラルシティ宣言」を行い、本市らしい脱炭素社会づくりの取り組みに繋がります。

## ■主な事業（案）■

### ○「(仮称)甲賀の豊かな森林づくり(健康林)」構想策定

「植える・育てる・使う・植える」の循環型林業の確立を目指し水源かん養、CO<sub>2</sub>吸収等の森林の有する多面的機能の持続的な発揮に繋げるべく、本市に適合する森林づくり構想。

※森林区分と目標林型の設定、間伐面積、素材生産量の設定等



### ○木育推進事業

子ども達の育つ環境に木を取り入れ、木材や木製品との触れ合いを通じて心を育む中で周りの大人たちが少しずつ木に関心を持ち、森に目を向けることにより、木の良さや利用の意義を学んでもらう「木育」に取り組む。

・ウッドスタート宣言 【県内市町初】

NPO 芸術と遊び創造協会（東京おもちゃ美術館）との調印

木育円卓会議（ウッドスタート事業の今後の方向性等）の開催

市内業者による市産材を活用した「木のおもちゃ」デザイン・制作（業務委託）

R5～ 誕生祝品として新生児へ贈呈

